

第8回・中国分科会 in 上海会議報告
 (中国名称：(仮) 中国建築生活倶楽部)

日時：第一日目 2008年2月22日(金) 13:30 開始 … 会議、講演会、懇親会
 第二日目 2008年2月23日(土) 10:30 スタート … (第三回) 親睦ゴルフ
 場所：第一日目 ①会議 … 上海万科房地產集團・大ホール
 ②講演会 … 同上
 テーマ：『中国不動産の近況概説』
 講師：万科上海区域本部 副総経理 傅志強氏
 ③懇親会 … 日本料理・橙屋＝おでん料理＝
 第二日目 上海高爾夫倶楽部

概要報告：

第8回分科会は40社58名が参加され、分科会始まって以来最大規模の会議になりました。
 (※2月末現在/中国賛助会員17社)

第一部の全体会議は、会場を上海万科様の大ホール(会議室から急遽大ホールへ変更)をお借りして、開催しました。会議は、榎本上海世話役の司会で、伏見会長代行代理のご挨拶にはじまり、林事務局長の連絡事項(今回は新規参加の皆様も多く本協議会の歴史や目的等をご紹介)などをご報告いたしました。また、自己紹介及び会社近況などもご報告いただきましたが、参加者も多く十分な討議時間が取れない状況でした。

次回開催予定；5月30日/於・北京を決め、王達北京世話役に中締めのご挨拶をいただきました。

日中建築住宅産業協議会=JCBH= 沿革

1. 設立: 1985年2月 87社で発足
 - ① 当時の…(財)日本建築センター 沢田理事長(元・建設省住宅局長/現・JCBH副会長)と 中国建設部・許涪烈局長間で交流合意書簡を交換
 - ② これに基づき中国側は中国建築住宅産品廠商連合会(製造販売会社の集まり)を結成
 - ③ 日本側民間業(り重)として日中建築住宅産業協議会を結成
2. 政府間(GG) → 建築センター(WCC) → 業界団体(民・民) 交流開始
 - (日本) (中国)
 - ① 政府間交流
建設省 vs 建設部
通産省 vs 商務部(国家建材局)
 - ② 建築センター間交流 (財)日本建築センター vs 中国建築技術発展中心
(現在) (財)日本建築C+BL vs 中国建築設計研究院+同・科学研究院
 - ③ (民間) 業界交流 ——— 日本建築住宅産業協議会
vs 中国建築住宅産品廠商連合会

★日本建築(財)住宅産業協議会 … (略称) JCBH
 Japan-China For Building and Housing Industries

日中建築住宅産業協議会=JCBH= 目的

1. (初期) 建築・住宅分野における
政府間交流の道づくりと相互の技術交流、人的交流
2. 中国の住宅供給機能の産業化への協力体制づくり
3. 建築・住宅分野における日中両国の友好と交流 (企業交流)
4. 会員企業への中国住宅建築、経済関連情報提供、会員企業情報交流の場
(民間の中国建設=住宅中心=関連の親睦団体)
***** 2005.12/事務局長・林就任後 *****
5. (JCBHの名称通り) 住宅・非住宅・ランドスケープ等を含む日中間(相互市場)の建設関連市場 をテーマにする … ※運営委員会ご承認
6. JCBHの 活性化及び真の日中交流を目的として中国分科会を設立
(06.05/北京にて設立準備会議開催) … 運営&総務委員会ご承認
※建設関連の日中間相互市場のビジネス交流の場作り … と定義(林私案)

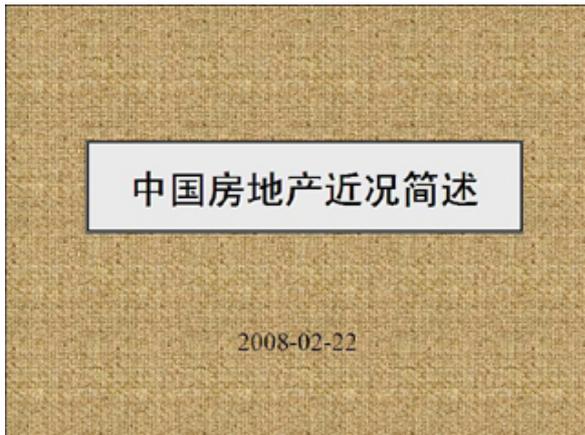
日中建築住宅産業協議会の沿革・目的など(事務局)のPPT一部

第二部は、万科の傅氏に流暢な日本語で、中国の不動産の状況についてご講演いただきました。中国人も数多く参加(約20名)されており、スクリーンのPPTは中国語でした。(後日、事務局にて日本語に翻訳し、会誌掲載の予定)

傅氏は、万科設立当初の一期から三期の開発プロジェクトの設計を担当し、王石董事長の万科設立当初の片腕でもあったとの事です。その後日本の都立大学へ留学し、日本の設計事務所勤務の後、家族を日本に残し、昨年逆単身で万科に再入社されたとの事です。



講演の様子



第一篇 行业环境篇

- 回望07年，中国经济仍然保持了快速增长，消费与购买力也保持了较高的增长率。但与此同时，也呈现了通胀压力持续加大、投资速度仍然偏快，调控政策频出的特点。闲置土地、住房保障、信贷紧缩成为政策的主方向标。
- 观点：中国经济仍然处在增长周期，消费将成为经济增长的主动动力，配合人民币升值，成为支撑房地产保持健康发展的基础。
- 关键词：消费 土地 紧缩 增长

『中国不動産の近況概説（中文）』（講師：傅 志強氏）※PPTの一部

第三部の懇親会は、上海のおでん料理『日本料理・橙屋』で賑やかに開催いたしました。こちらの会場も三階の1フロアを貸切りの予定でしたが、予想以上の参加で急遽二・三階を貸切り2フロアでの大・懇親会となりました。

全員三階に集合し、伏見代理の『乾杯』のご発声で宴がはじまりました。その後、参加の皆様は二階と三階を昇り降りしながら、交流をはかっていたいただきました。

吉村総務委員長の中締めで宴はお開きになりましたが、更に大勢で二次会へ繰り出し、夜遅くまで盛り上がりました。中国分科会も設立後二年足らずで、益々活況を呈してまいりました。



翌日の第三回親睦ゴルフは欠席者も出て、一組でのプレーとなりました。参加の皆様も前日のご苦勞に報いる為か、槇本世話役の優勝でハッピーエンドと相成りました。

上海世話役の槇本様（閻女史）には大変ご苦勞をお掛けいたしました。紙面をお借りして心より御礼を申し上げます。

(A. H記)

(関連記事：会報 NO.172 掲載予定)